



大内中だより

きつきの丘

Webページはこちら→

令和6年12月25日
第35号



本校卒業生3名がミニ教育実習で来校 (教師ミニミニ体験事業)

秋田大学高大接続センターが主催する教職体験プログラム「教師ミニミニ体験」事業で、本校の卒業生3名（高校2年生）が来校しました。

12月18日～20日までの3日間、教員としての仕事を体験しました。初日から、授業参観、担当教科の先生と授業に向けての打合せ、給食指導、家庭学習の点検、清掃指導等を行いました。その中でも、実際に授業の一部を担当して、生徒に「学習指導」を行うことが目玉の1つとなっています。これまでは大学生による教育実習でしか体験できなかったことを高校生にも体験してもらい、「教員」の魅力を伝える機会でもあります。全国ニュースで教員不足が取り上げられていますが、秋田県も同じ状況です。本荘由利地区でも、地元在住の教員が不足しています。こうした事業を通じて、地元の教員が増えることを切望します。



三階建ての家（冬休み前集会より）



目に見える部分ばかりにあこがれて、成功している人をうらましく感じた事は、誰にでもあるでしょう。だからこそ、表に現れない、その人の「裏の努力」に思いを馳せる事が大切なのではないのでしょうか。

プロ野球選手だった野村克也さんの言葉の1つに「努力に勝る才能なし」があります。でも、才能の有無も、実際に努力してみなくては分かりません。以前に世間で流行した「やればできる!」は、「やらずにはできない」と言い換えることができます。特に、勉強については「学問に王道なし」のことわざのように、突然成績が向上するといった近道はないと思います。

このお話は、自分の進むべき方向を見極め、そして日々精進する大切さを、中学生の皆さんに説いていると考えてみてはどうでしょうか。今の自分には何が必要なのか、何が大切なのかを考えながら、明日からの冬休み期間を過ごしてほしいと思います。

【栄光の記録】

○全日本アンサンブルコンテスト 秋田県大会中央地区予選

管楽5重奏 「ロックポート」 銀賞
金管6重奏 「カリンカ」 銅賞

